

Asprova My Schedule 導入手順書

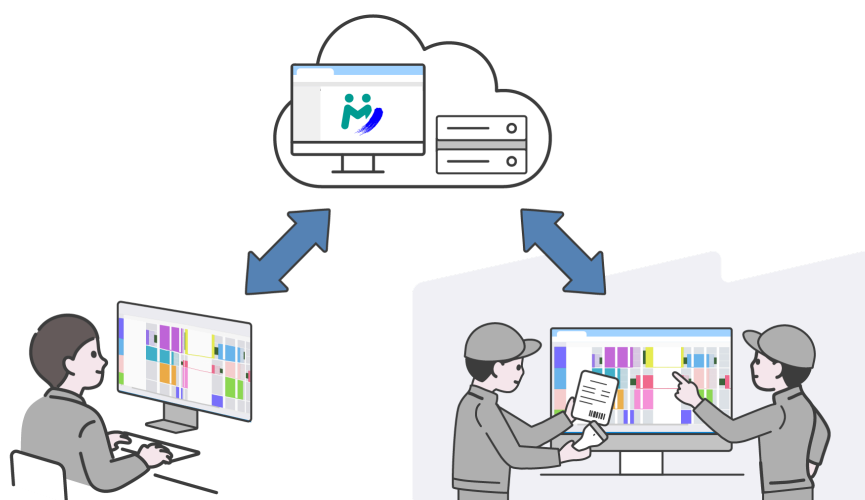
Asprova My Schedule コントロールパネル Ver.1.8.13

1.目次

1.目次.....	1
2.はじめに.....	2
3.My Scheduleを専用のサーバに導入しよう.....	2
3.1 My Scheduleコントロールパネルをダウンロードしよう.....	2
3.2 My Scheduleの設定をしよう.....	6
3.3 My Scheduleのライセンスを設定しよう.....	11
・e-プロテクタの設定方法.....	12
・e-プロテクタ認証情報の更新.....	16
・バックアップ版e-プロテクタの準備.....	19
・バックアップ版e-プロテクタの有効化.....	20
・オンラインライセンスの設定方法.....	20
・オンラインライセンスの更新.....	23
4.WEBブラウザからMy Scheduleのプロジェクトを設定しよう.....	24
5.AsprovaとMy Scheduleを連携しよう.....	27
5.1 AsprovaでMy Scheduleを使う準備をしよう.....	27
5.2 連携設定をしよう.....	30
5.3 実績をダウンロードしよう.....	36
6.My scheduleで計画データを共有しよう.....	39
7.My Scheduleを最新版に更新しよう.....	42
8.Q & A.....	44

2.はじめに

このドキュメントでは、My Scheduleを専用のサーバで運用する方法や、ライセンス認証の設定方法についてご説明します。



3.My Scheduleを専用のサーバに導入しよう

3.1 My Scheduleコントロールパネルをダウンロードしよう

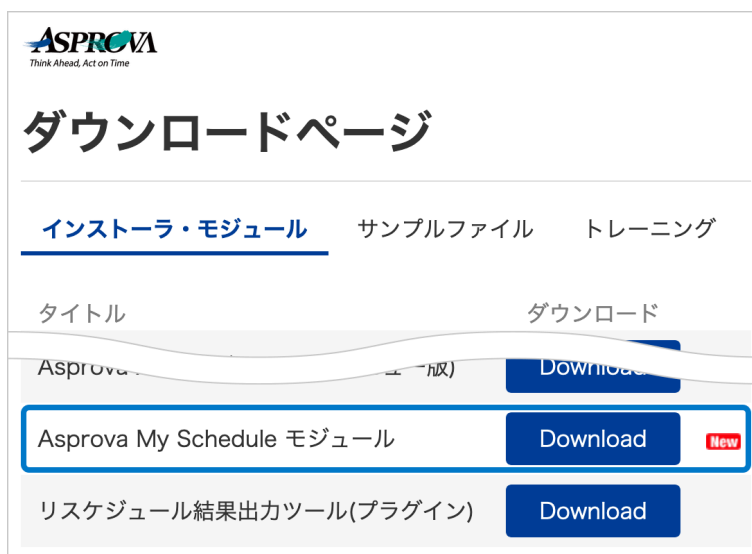
最新版のAsprovaにはMy Scheduleが同梱されていて、スタートメニューから起動することができますが、AsprovaがインストールされていないサーバマシンなどにMy Scheduleを導入する手順をご説明します。

まず始めに、サーバマシンに最新のMy Scheduleモジュールをダウンロードしましょう。

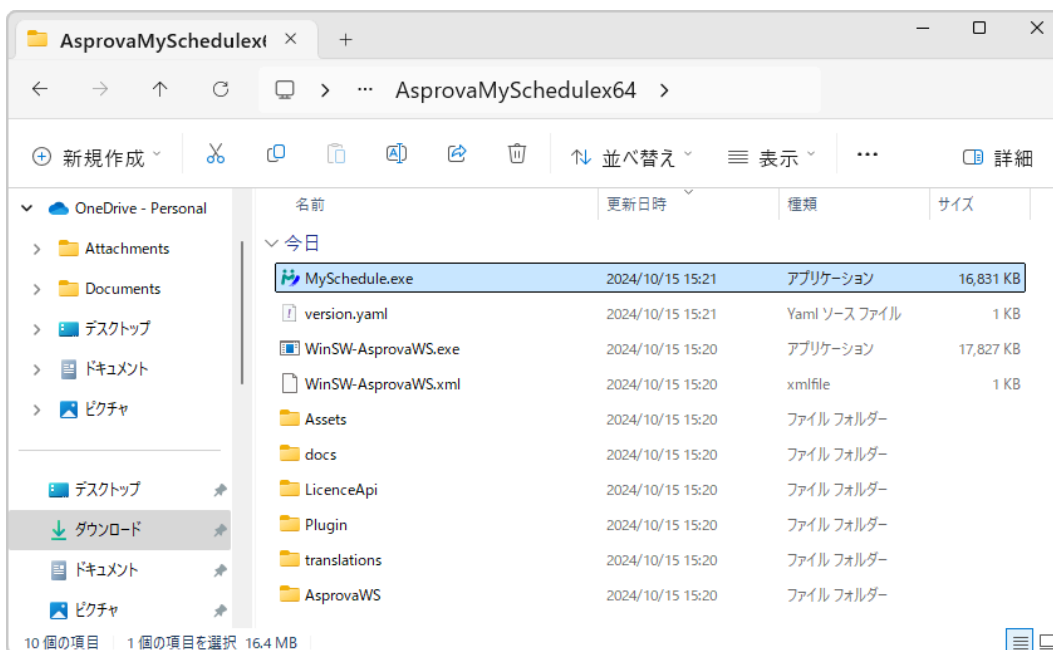
[Q 01:推奨動作環境が知りたい...▼](#)

手順3.1_01:My Scheduleモジュールをダウンロードしよう

[公式のダウンロードページ](#)からAsprova My Scheduleモジュールをダウンロードしてください。



ZIPファイルがダウンロードされますので、解凍してください



Asprova My Scheduleモジュールフォルダの内容

手順3.1_02:MySchedule.exeを実行しよう

解凍したフォルダの中にある「MySchedule.exe」で、My Scheduleの起動や停止、各種設定を行うことができます。

「MySchedule.exe」を実行してみましょう。

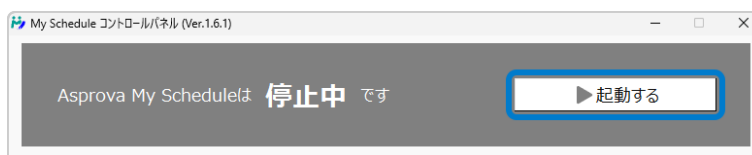
注)後ほどライセンス認証の設定を行う場合は管理者権限で実行してください。
設定の変更や日常の運用では管理者権限で実行する必要はありません。



MySchedule.exeを実行すると、My Scheduleコントロールパネルが開きます。

ウィンドウ上部の▶[起動する]ボタンでMy Scheduleを起動してみましょう。

手順3.1_03:My Scheduleを起動しよう



注)起動するボタンを押した際にWindowsセキュリティのウィンドウが表示され、ファイアウォールによりNode.js JavaScript Runtimeがブロックされている場合は許可することで、ファイアウォールを通すことができます。

My Scheduleが起動すると、ボタンの背景色が緑色になり、ボタンが[■停止する]に変わります。

また、ログが記述され、My Scheduleが稼働していることが確認できます。



Asprova My Scheduleを起動した状態

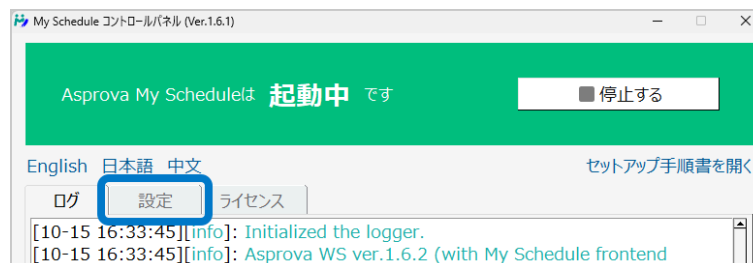
My Scheduleコントロールパネルは、My Scheduleを利用する間、起動したままにしておく必要があります。

3.2 My Scheduleの設定をしよう

My Scheduleコントロールパネルで、各種設定ができます。

[設定]タブの内容を確認しましょう。

手順3.2_01:My Scheduleを設定しよう



[設定]タブの画面内容

・ホスト(IP)

ホスト(IP)の欄にはホスト名かIPアドレスを記入します。

最初にMy Schedule コントロールパネルを開いた時に、ホスト(IP)に記載されている”http://127.0.0.1”は、今、自分が使っているPCのアドレスを指定する、特別なIPアドレスです。

専用のサーバでMy Scheduleを稼働する場合は、サーバに固有に割り当てられたホスト名またはIPアドレスを入力してください。

・ポート番号

デフォルトで設定されている”80”のままが良いですが、接続できない場合は5001など、80以外の数値を設定してください。

・詳細設定

-過去のデータを削除

My Scheduleで管理しているデータのうち、指定した日数以前のデータ(My Scheduleで入力した実績数量、設備の能力値)を削除します。

-Windowsサービスとして起動する

ONにするとサーバが起動する時にMy Scheduleも自動で起動します。

-HTTPSを有効にする

SSLの秘密鍵を「privatekey.pem」、証明書を「cert.pem」という名前にしてください。

上記2つのファイルを手順3.1_01でダウンロードしたMySchedule.exeがある階層のAsprovaWS/sslフォルダの中に配置して、トグルスイッチをONに設定してください。

sslフォルダがない場合は作成してください。

-adminアカウントのパスワード

adminアカウントのパスワードを変更できます。

設定が完了したら、WEBブラウザからMy Scheduleにアクセスしてみましょう。

WEBブラウザを立ち上げてMy Scheduleに接続してみましょう。

My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブに記載されている、ホスト(IP)とポート番号を組み合わせたものが、My Scheduleに接続するためのアドレスになります。

ライセンス認証をe-プロテクタで行う場合は、e-プロテクタ用のドライバをインストールする必要があります。

ドライバのインストールはMy Scheduleコントロールパネルの[ライセンス]タブで行いますので、必要に応じてインストールを行きましょう。

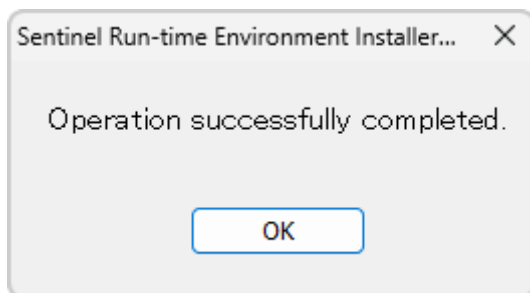
手順3.2_02:e-プロテクタドライバをインストールしよう

My Scheduleコントロールパネルのライセンスタブを表示して、ドライバインストール項目にある[インストールする]ボタンを押すと、e-プロテクタドライバのインストールを開始します。



インストールを実行すると、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

その後、以下のウィンドウが表示されたらインストールは完了です。

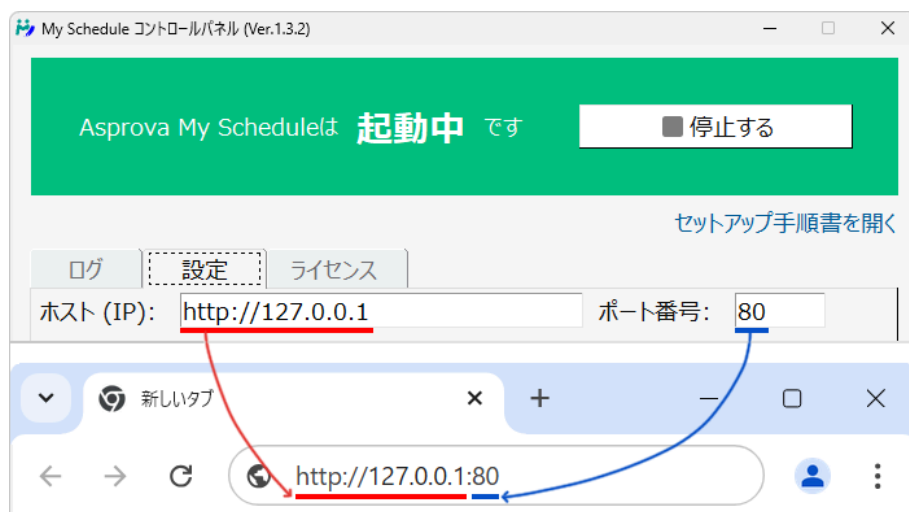


My Scheduleコントロールパネルで設定を行ったり、変更した後は、コントロールパネルの再起動が必要です。

コントロールパネルを終了して起動し直してから、WEBブラウザでMy Scheduleにアクセスしましょう。

手順3.2_03:WEBブラウザからMy Scheduleに接続しよう

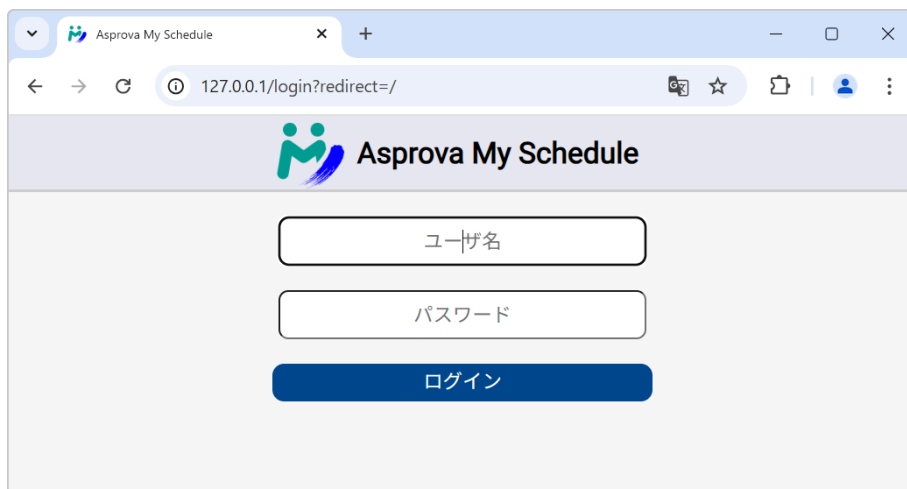
My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブに設定した、ホスト(IP)の欄に記載されている文字列とポート番号の欄に記載されている数値を:(半角コロン)で繋げた文字列を、WEBブラウザに入力してEnterを押してください。



注)デフォルトで設定されているアドレス(`http://127.0.0.1`)でアクセスする場合は、My Scheduleコントロールパネルを起動しているPC上でWEBブラウザを立ち上げてアクセスしてくだ

さい。

Asprova My Scheduleのログイン画面が表示されれば、接続成功です。



Asprova My Schedule ログイン画面

[Q 02:WEBブラウザにMy Scheduleのログイン画面が表示されない...▼](#)

手順3.2_04:My Scheduleにログインしよう

ログイン画面が表示されたら、adminアカウントでログインしてみましょう。

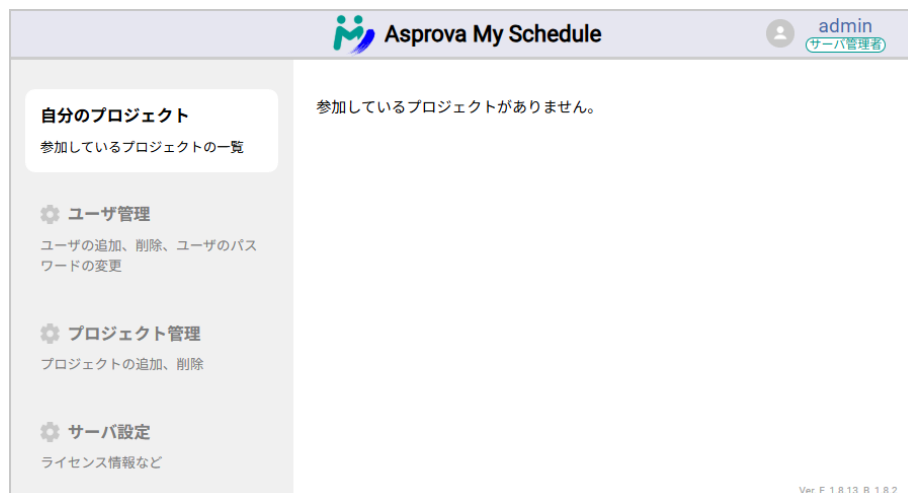
以下のユーザ名と初期パスワードでログインしましょう。

ユーザ名	admin
初期パスワード	*qkCMt4Ut5

注)My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブ最下段にある[adminアカウントのパスワード]で、新しいパスワードに更新している場合は、新しいパスワードを入力してください。

[Q 03:WEBブラウザからMy Scheduleにログインできない...▼](#)

ログインすると、adminアカウントで設定可能な項目が表示されます。

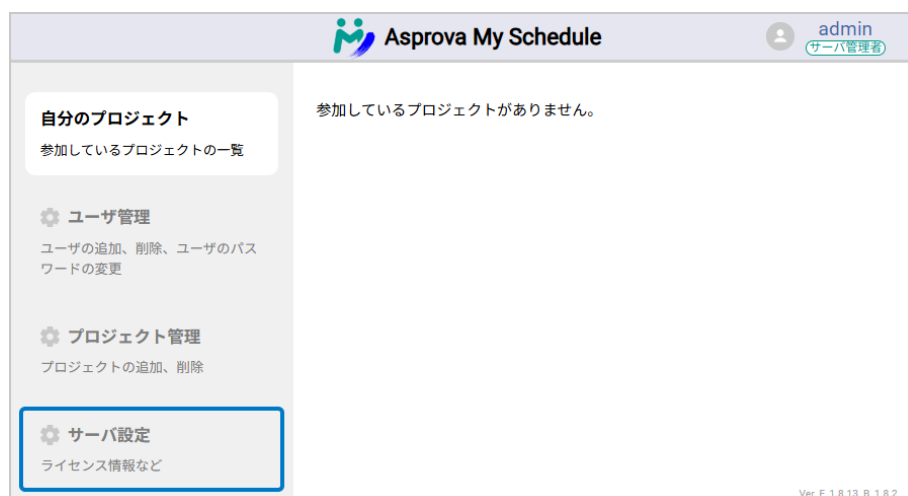


adminアカウントでログインした場合の画面内容

3.3 My Scheduleのライセンスを設定しよう

My Scheduleのライセンス認証方法は、e-プロテクタとオンラインライセンスの2種類があります。

ライセンスの設定は、WEBブラウザからアクセスするMy Schedule上で行います。
WEBブラウザでMy Scheduleにadminアカウントでログインしましょう。



[サーバ設定]を選択すると、現在のライセンス状況が表示されます。

ライセンス認証方法:なしとなっている場合は、フリープランのみ利用可能です。



サーバ設定画面

[オンラインライセンスの設定方法...▼](#)

•e-プロテクタの設定方法

e-プロテクタはマシンにライセンス情報を記録した電子ファイル(e-プロテクタ)をインストールする認証方式です。


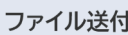
e-プロテクタの取得には、サーバ管理者の方と販売代理店を通じてアスプローバ社の中でファイルのやり取りが必要となり、手続きには数日間必要です。




手順 3.2.02:

e-プロテクタドライバインストール

手順 3.3.01:

フィンガープリントファイル生成  asfingerprint.c2v  ファイル送付

認証ファイル受け取り

 aslicenseXXX.v2c

手順 3.3.02:

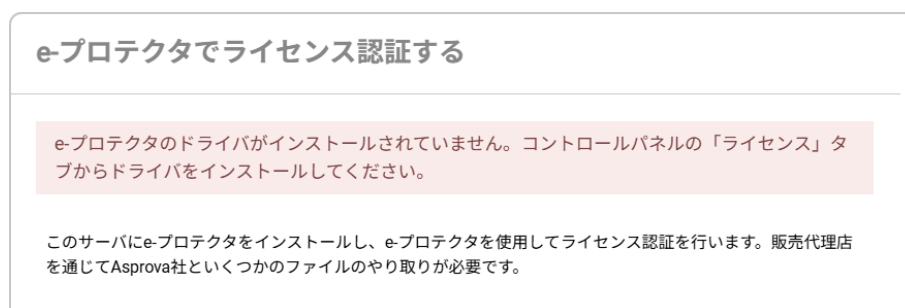
認証ファイル読み込み  ascreatelogXXX.c2v  ファイル送付



サーバ設定画面のライセンス認証方式の選択から[e-プロテクタ]を選択しましょう。



[e-プロテクタ]ボタンを押すと表示されるウィンドウで、以下のような赤色のメッセージが表示されている場合は、e-プロテクタのドライバがインストールされていない状態です。



ドライバのインストールはMy Scheduleコントロールパネルで行うことができます。
「[手順3.2_02](#)」を参照して、e-プロテクタのドライバをインストールしてください。

e-プロテクタのドライバをインストールした後、フィンガープリントファイルを生成して販売代理店を通じてアスプローバ社に送付します。

WEBブラウザからアクセスするMy Scheduleからフィンガープリントファイルを取得できます。

手順3.3_01:フィンガープリントファイルを取得/送付しよう

サーバ設定項目にあるライセンス認証方式の選択から[e-プロテクタ]を押して表示されるウィンドウの、[フィンガープリントファイルを取得する]ボタンを押しましょう。

e-プロテクタでライセンス認証する

このサーバにe-プロテクタをインストールし、e-プロテクタを使用してライセンス認証を行います。販売代理店を通じてAsprova社といくつかのファイルのやり取りが必要です。

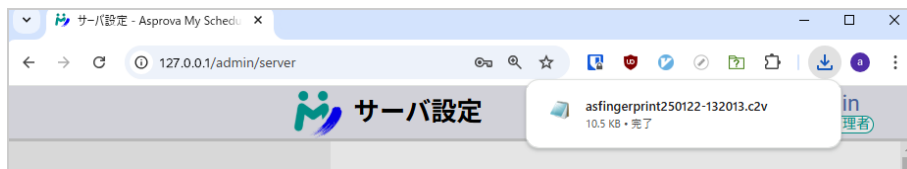
フィンガープリントを取得する

e-プロテクタを作成するには、フィンガープリントを取得し、販売代理店を通じてAsprova社に送付頂く必要があります。

「フィンガープリントを取得する」を押すと、フィンガープリントファイルがダウンロードされます。このファイルを販売代理店を通じてAsprova社にお送りください。

① [フィンガープリントを取得する](#)

マシン固有の情報を記載したフィンガープリントファイルが「asfingerprintXXX.c2v」という名称でダウンロードされます。



こちらのファイルを販売代理店を通じてアスプローバ社へ送付してください。

ライセンス情報を記載した認証ファイルをアスプローバ社から発行しますので販売代理店から受け取ってください。

認証ファイルを設定するために、[認証ファイルを適用する]ボタンを押しましょう。

手順3.3_02:認証ファイルを読み込もう



[認証ファイルを適用する]ボタンを押すとファイルを選択するウィンドウが表示されます。

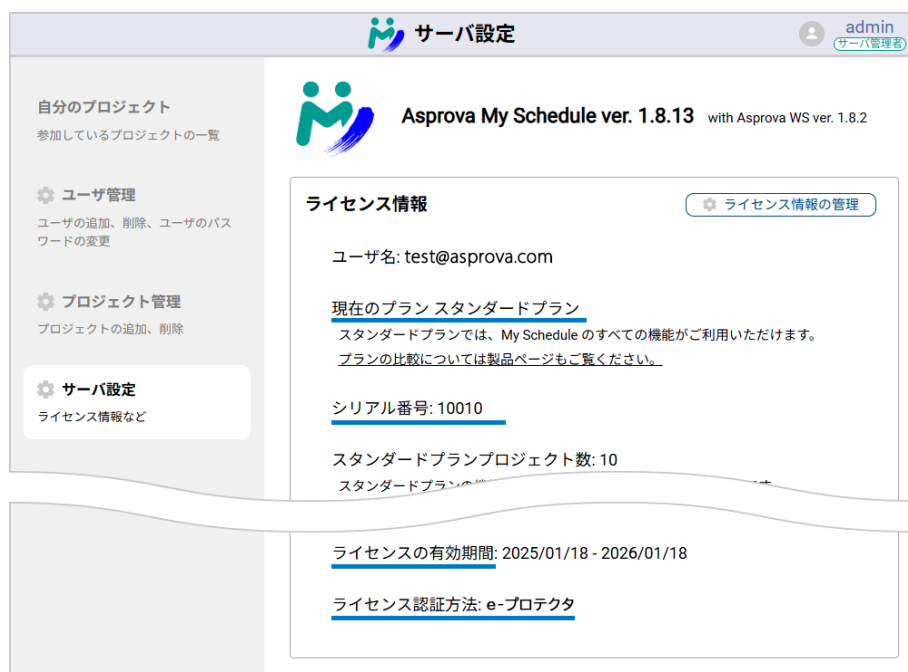
[ファイルを選択]ボタンを押して、「aslicenseXXX.v2c」(XXXはシリアルナンバーの文字列)という名称の認証ファイルを選択してください。



ファイルを選択した後、[適用する]ボタンを押して認証ファイルを適用しましょう。

認証に成功したダイアログが表示されれば、e-プロテクタのライセンス認証設定は完了です。

サーバ設定画面で利用可能なプランや同時接続数、有効期限などの情報が確認できます。



最後に、正規認証ファイルの適用を行った際に、e-プロテクタ作成ログファイル「ascreatelogXXX.c2v」(XXXはシリアルナンバーの文字列)がダウンロードされますので、このファイルを販売代理店を通じてアスプローバ社へ送付してください。



e-プロテクタ作成ログファイルがダウンロードされた様子

•e-プロテクタ認証情報の更新

Asprova My Scheduleは、一年契約となっており、契約を更新した際にe-プロテクタ認証情報の更新を行うことで継続して利用可能になります。

契約更新時に販売代理店を通じてアsproバ社から受け取るマジックNoをMy Scheduleに設定しましょう。

マジックNoの設定は、サーバ設定画面で行います。

ライセンス情報の右上にある[ライセンス情報の管理]ボタンを押しましょう。

手順3.3_03:マジックNoでe-プロテクタ認証情報を更新しよう



[ライセンス情報の管理]ボタンを押すと表示されるウィンドウに、[マジックナンバーを入力する]ボタンがあります。

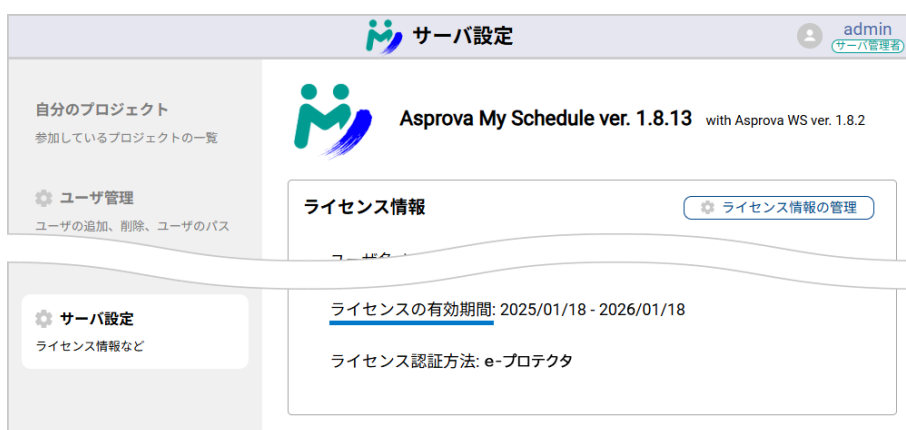


[マジックナンバーを入力する]ボタン押して表示されるウィンドウの入力枠に受け取ったマジックナンバーを入力して[適用する]ボタンを押してください。



ライセンス認証の管理ウィンドウの右下にある[OK]ボタンを押してウィンドウを閉じると、現在適用されているライセンスの情報が表示されています。

ライセンスの有効期間の項目で、期間が延長されていることを確認してください。



・バックアップ版e-プロテクタの準備

注)バックアップ版e-プロテクタはMy Schedule Ver.1.9から利用可能となる予定です。

e-プロテクタはマシン1台に対してライセンスを行う認証方法なので、e-プロテクタで認証を行っているマシンが故障するなどのトラブルが発生した場合にMy Scheduleが利用できなくなります。

そのようなトラブルが発生した場合に備えて、正式版のe-プロテクタとは別に、バックアップ版のe-プロテクタをご用意しています。

正式版のe-プロテクタを利用するマシンとは別のマシンをバックアップ環境としてご用意ください。

バックアップ環境のマシンも正式環境のマシンと同様に、e-プロテクタの設定を行う必要があります。

以下の手順に従って、バックアップ環境のe-プロテクタの設定を行なってください。

1. 「[手順3.1.01](#)」を参照して、バックアップ環境のマシンにAsprova My Scheduleのモジュールをダウンロードして解凍してください。
2. 「[手順3.1.02](#)」を参照して、「My Schedule.exe」を管理者権限で実行してください。
3. 「[手順3.2.02](#)」を参照して、e-プロテクタドライバのインストールを行います。
4. 「[手順3.3.01](#)」を参照して、フィンガープリントファイルを取得し、販売代理店を通じてアスプローバ社へ送付してください。

5. アスプローバ社からバックアップ版認証ファイルを発行しますので販売代理店から受け取ってください。

バックアップ版認証ファイルは保存しておき、読み込まないでください。

・バックアップ版e-プロテクタの有効化

バックアップ環境でMy Scheduleを起動する必要がある際に、

「[手順3.3_02](#)」を参照して、バックアップ版認証ファイルを読み込んでください。

読み込みが完了した時点からバックアップ版のe-プロテクタが有効になります。

バックアップ版e-プロテクタの有効期限は、読み込んでから3週間です。

その間に正式版の環境を復旧してください。

正式版環境の復旧が済んだ際は、バックアップ版プロテクタを再度利用できるように、マジックNoでリセットする必要があります。

販売代理店を通じてアスプローバ社に申請して、マジックNoを取得してください。

[Q 04:e-プロテクタを他のマシンに移動したい...▼](#)

[Q 05:仮想マシン技術でe-プロテクタを利用したい...▼](#)

[e-プロテクタの設定方法...▼](#)

・オンラインライセンスの設定方法

手順3.3_04:オンラインライセンス認証を設定しよう

サーバ設定画面の認証方法の選択から[オンライン]ボタンを押して、設定を行いましょう。



ポップアップウィンドウが表示されますので、Asprova ID でログインしましょう。
Asprova IDに割り当てられている利用可能なライセンスを検索します。

オンラインライセンス認証を設定する

AsprovaIDにログインし、利用可能なライセンスを検索します。

Asprova ID:

パスワード:

利用可能なライセンスのリストが表示されますので、使用するライセンスの[選択する]ボタンを押してください。

[選択する]ボタンが押せない状況になっていて、(?)マークが表示されている場合があります。

(?)マークにマウスのポインタを乗せると、ボタンを押せない理由が以下の図のように表示されます。

オンラインライセンス認証を設定する

ログインしたAsprovaIDには以下のライセンスが割り当てられています。使用するライセンスを選択してください。

シリアル番号: 10009
 プロジェクト (スタンダードプラン): 10, プロジェクト (ビューワプラン): 10, 同時接続数: 5
 有効期間: 2025/01/18 - 2025/05/01
 コメント: 5月1日まで

シリアル番号: 10010
 プロジェクト (スタンダードプラン): 10, プロジェクト (ビューワプラン): 10, 同時接続数: 5
 有効期間: 2025/01/18 - 2025/01/23
 コメント: 1月23日まで

使用中です
 ライセンスは他の端末で使用されています。ライセンスの管理者の場合は、[マイライセンスページから強制的にログアウトさせることができます。](#)

オンラインライセンスに使用するシリアル番号を選択すると、利用可能なプランやプロジェクト数、同時接続数、ライセンスの有効期限などの情報が表示され、設定したライセンスでMy Scheduleを利用可能となります。

サーバ設定
admin (サーバ管理者)

自分のプロジェクト
参加しているプロジェクトの一覧

ユーザ管理
ユーザの追加、削除、ユーザのパスワードの変更

プロジェクト管理
プロジェクトの追加、削除

サーバ設定
ライセンス情報など

Asprova My Schedule ver. 1.8.13 with Asprova WS ver. 1.8.2

ライセンス情報

ユーザ名: test@asprova.com

現在のプラン **スタンダードプラン**
 スタンダードプランでは、My Schedule のすべての機能がご利用いただけます。
[プランの比較については製品ページもご覧ください。](#)

シリアル番号: 10010

スタンダードプランプロジェクト数: 10
 スタンダードプランの同時接続数: 5

ライセンスの有効期間: 2025/01/18 - 2026/01/18

ライセンス認証方法: オンライン

ライセンス情報の右上にある[ライセンス情報の管理]ボタンを押すと「ライセンス認証の管理」ポップアップウィンドウが表示され、現在選択しているライセンスを解除したり、ライセンス方法の変更ができます。

22

ライセンス認証の管理

現在のライセンス認証方法: オンライン 変更する

ログアウトする
オンラインライセンス認証のセッションからログアウトします。
ログアウトすると、サーバに有効なe-プロテクタがある場合を除いて、未ライセンス認証状態になります。

ログアウト

OK

[変更する]ボタンを押すと、ライセンス認証の方法をe-プロテクタにするか、オンラインライセンスにするかを選択できます。

ライセンス認証方法を設定する

Asprova My Schedule の有償プランを使用するための、ライセンス認証方法を選択します。ライセンス認証方法は購入時に指定されています。不明な場合は、販売代理店にお問い合わせください。

e-プロテクタ オンライン

キャンセル 次へ

[ログアウト]ボタンを押すと、e-プロテクタを設定していない場合は、オンラインライセンスのシリアルを解除して、ライセンスが適用されていないフリープランのみ利用できる状態になります。

・オンラインライセンスの更新

Asprova My Scheduleは、一年契約となっており、契約の更新を行うことで継続して利用可能になります。

契約の更新を行った後、WEBブラウザからアクセスするMy Scheduleや、My Scheduleコントロールパネルで更新作業を行う必要はありません。

[マイライセンスページ](#)で、使用期限が延長されていることを確認してください。

4.WEBブラウザからMy Scheduleのプロジェクトを設定しよう

プロジェクトの設定を行うために、adminアカウントでMy Scheduleにログインしましょう。

まだ何もプロジェクトが無い場合は、プロジェクトを追加しましょう。

手順4_01:プロジェクトを追加しよう

プロジェクトの追加は「プロジェクト管理」で行います。

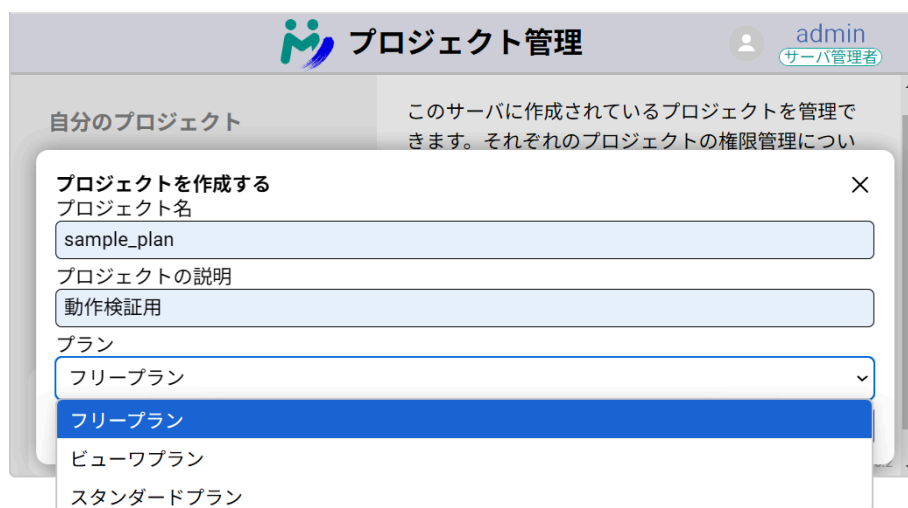
[プロジェクト管理]ボタンを押して、プロジェクト管理画面を表示しましょう。



プロジェクト管理画面

[+プロジェクトを追加する]ボタンを押して、プロジェクトを追加しましょう。

表示されるウィンドウにプロジェクトの概要を記入して「プラン」からプロジェクトに適用するプランを選択してください。



プロジェクトのプラン選択画面

[作成する]ボタンを押すとポップアップウィンドウが閉じて、作成したプロジェクトがリストに表示されます。



プロジェクトが追加された様子

作成したプロジェクトのプロジェクト名をクリックして、プロジェクトを見てみましょう。

作成したばかりのプロジェクトでは、「このプロジェクトには画面が設定させていません。」というメッセージが表示されます。

[プロジェクトの詳細設定]ボタンを押して、プロジェクトの内容を設定しましょう。

手順4_02:プロジェクトの詳細設定をしよう



プロジェクトの詳細設定では、以下の項目が設定できます。

-基本情報

プロジェクトの基本的な情報を編集、確認できます。

-画面設定

プロジェクトで共有する画面を選択します。

-ユーザー設定

プロジェクトを共有するユーザと権限を設定できます。

ここでは「画面設定」で[資源ガントチャート]を追加した例で説明を進めます。

共有する画面にチェックマークがついていることを確認して[保存する]ボタンを押してください。

UI設定

このプロジェクトで使用するUIを選択します。設定したUIを利用するには、プラグインから対応するデータをアップロードする必要があります。

The screenshot displays the 'UI設定' (UI Settings) interface. It features several preview windows and control elements:

- Resource Gantt Chart:** A Gantt chart showing resource usage over time, with a checked checkbox labeled '資源ガントチャート'.
- Comparison View:** A view showing two columns of data for comparison, with a checkbox labeled '差立てビュー'.
- Work Table:** A table listing tasks with columns for code, task name, and status, with a checkbox labeled '作業テーブル'.
- Order Gantt Chart:** A Gantt chart showing order processing times, with a checkbox labeled 'オーダーガントチャート'.
- Order Lead Time:** A horizontal bar chart showing lead times for various orders, with a checkbox labeled 'オーダーリードタイム'.
- Manufacturing BOM Table:** A table showing manufacturing BOM data, with a checkbox labeled '製造BOMテーブル'.
- Save Button:** A blue button labeled '保存する' (Save).

ウィンドウ左上の[戻る]ボタンを押して、前の画面に戻り、追加した画面のアイコンをクリックしてみましょう。

「必要なファイルが見つかりませんでした」というメッセージが表示される場合は、まだ計画データがアップロードされていません。

Asprovaから計画データをアップロードしましょう。

5.AsprovaとMy Scheduleを連携しよう

5.1 AsprovaでMy Scheduleを使う準備をしよう

AsprovaからMy Scheduleにデータをアップロードするための設定をしましょう。

Asprovaから計画データをアップロードしたり、実績をダウンロードするなど、My Scheduleと連携するためには、AsprovaにMy Scheduleのプラグインを導入する必要があります。

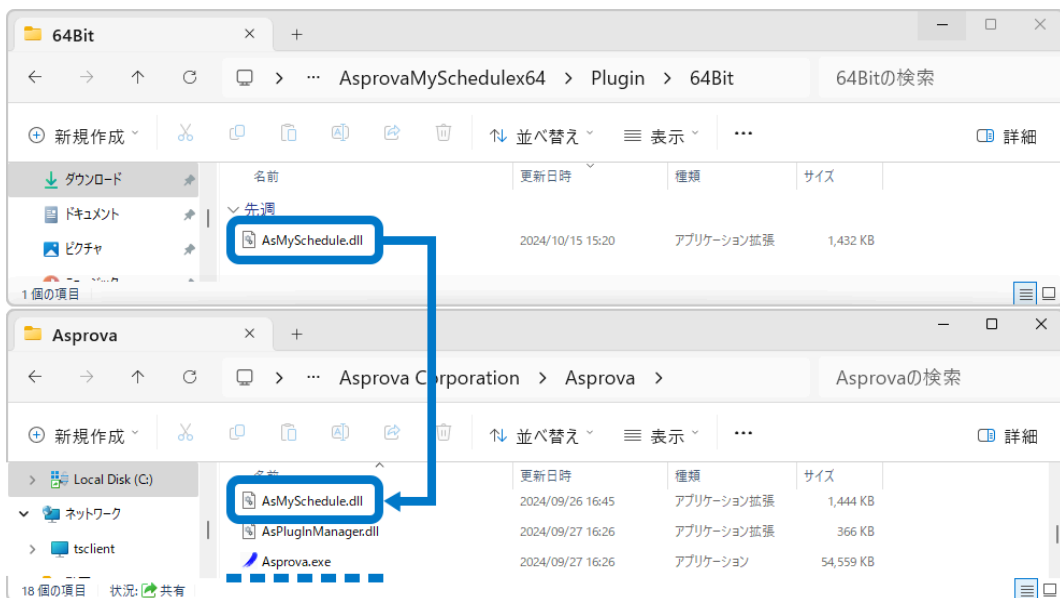
手順5.1_01:Asprovaにプラグインを導入しよう

手順3.1_01でダウンロードしたMy Scheduleモジュールフォルダに、Asprova用のプラグインが含まれています。

Asprovaが動作している場合は、一旦終了してください。

「My Scheduleモジュールフォルダ内の「Plugin」フォルダ>「bit数」フォルダ内にAsMySchedule.dll というファイルがあります。

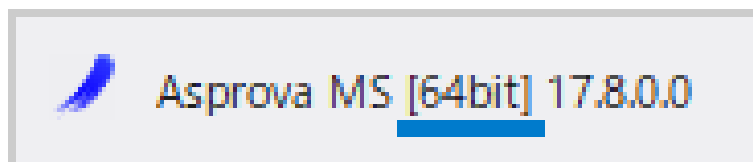
このファイルをAsprova.exeと同じ階層にコピーしてください。



プラグインのbit数はAsprovaのbit数と揃える必要があります。

Asprovaのバージョンは、タイトルバーで確認できます。

[64bit]の表示がない場合は32bitです。

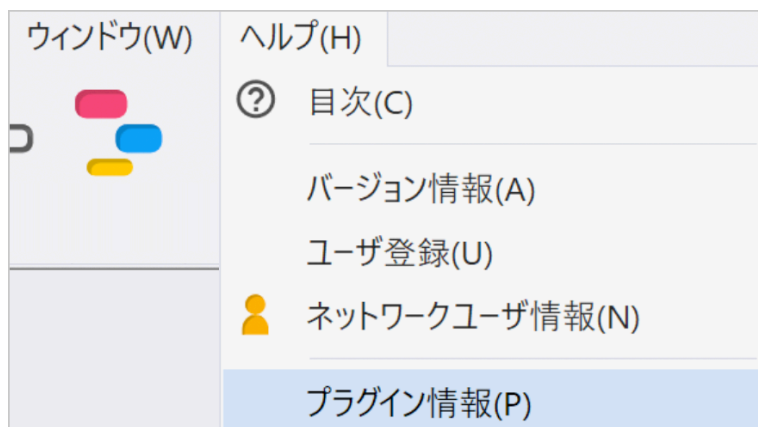


Asprovaのウィンドウ左上の表示例

注)お使いのAsprovaが最新版ではない場合は、My Scheduleが使えるバージョン17.6.0.0以降までアップデートしてください。

プラグインファイルを設置したら、Asprovaを管理者権限で立ち上げてください。

手順5.1_02:Asprova側の設定をしよう

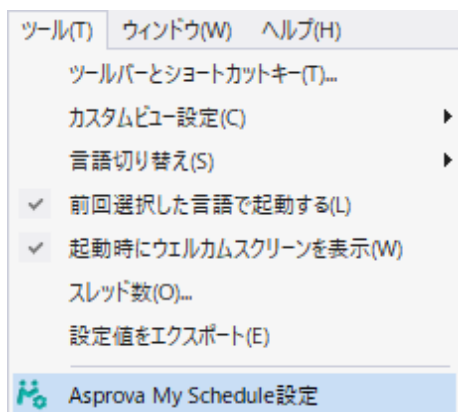


ツールバーの「ヘルプ」から「プラグイン情報」メニューを実行します。



「プラグイン情報」メニューで、左側にある「AsMySchedule.dll」にチェックを入れてください。

「OK」ボタンを押し、元の画面に戻ります。



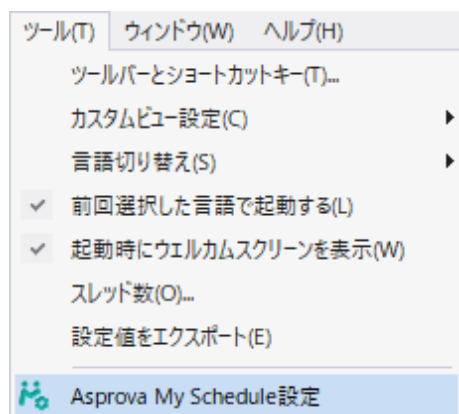
メニューバーの「ツール」に、「Asprova My Schedule 連携設定」というメニューが追加されていれば、Asprova My Schedule連携プラグインの追加は成功しています。

注)「プラグイン情報」メニューで、左側に「AsMySchedule.dll」がない場合: プラグインファイル(AsMySchedule.dll)がAsprova本体と同じディレクトリにあることを確認してください。

5.2 連携設定をしよう

My Schedule コントロールパネルでMy Scheduleを起動した状態で、My Scedule にアップロードするプロジェクトをAsprovaで開き、以下の手順で進めてください。

手順5.2_01:Asprova側の設定をしよう



Asprovaのメニューバーの[ツール]から
[Asprova My Schedule設定]を選択してください。

[Q 06:Asprova My Scheduleの操作項目が表示されない... ▼](#)

Asprova My Schedule連携設定ウィンドウ

Asprova My Schedule連携設定ウィンドウの「接続先サーバ設定」に、先ほどMy Scheduleコントロールパネルで設定した内容を記入します。

HTTPSで接続する場合は、ホスト/IPアドレス入力欄の横にある[SSL証明書を常に信頼]にチェックを入れましょう。


ホスト名/IPアドレス	http://127.0.0.1:80
ユーザ名	admin
パスワード	*qkCMt4Ut5

注)ホスト/IPアドレス、ポート番号やパスワードを変更した場合は、変更した内容を入力してください。

上記を入力してから[接続してプロジェクト名を取得]ボタンを押すと、「接続できました」というメッセージが表示されます。

[Q 07:Asprova My Schedule 連携設定で接続が出来ない...▼](#)

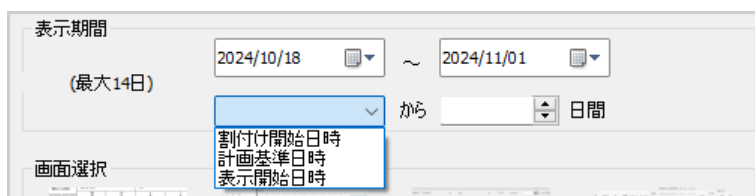
「接続先サーバ設定」のプロジェクト名のプルダウンリストから、アップロードしたいプロジェクト名を選択します。



接続先サーバ設定

[Q 08:スタンダード\(ビューフ\)プランを購入したにもかかわらず、フリープランが表示されているのはなぜですか?...▼](#)

「表示期間」で、どの期間のデータをAsprova My Scheduleバックエンドに送るかを設定することができます。



表示期間設定

表示期間の定義は下記を参照してください。

画面	表示期間の定義
資源ガントチャート	作業の開始、終了日時
オーダーガントチャート	オーダーの一番早い作業の開始日時と一番遅い作業の終了日時
製造BOM	(対象外)
作業テーブル	作業の開始、終了日時
差立てビュー	作業の開始、終了日時
オーダーリードタイム	オーダーの一番早い作業の開始日時と一番遅い作業の終了日時

例えば、表示期間を「2024年1月1日~2024年6月1日」に設定した場合、資源ガントチャートでは、開始日時と終了日時が2024年1月1日から2024年6月1日までの作業のデータをアップロードします。

表示期間は、ふたつの選び方があります。

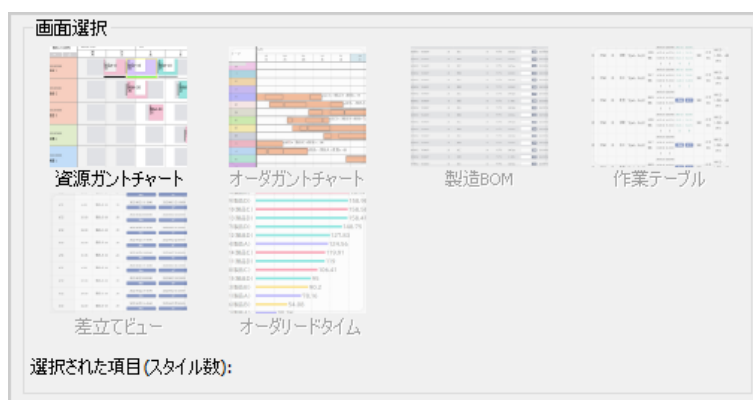
1. 日時を直接編集する方法
2. 左側にあるコンボボックスから、「割付開始日時」、「計画基準日時」と「表示開始日時」から一つを選んでから、右側にあるテキストボックスで日数を入力する方法。

スタンダードプラン、ビューワプランでは、表示期間が無制限で、自由に指定することができます。フリープランの場合は、表示期間は最大14日間になっています。

注)無制限の場合でも、表示期間を設定する必要があります。

「画面選択」で、アップロードする画面を選択します。

先ほどMy Scheduleの画面設定で選択した画面をこちらでも選択します。



画面選択

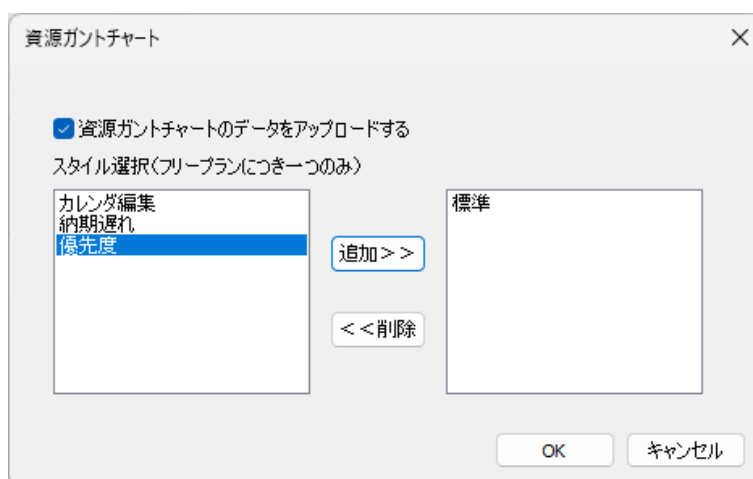
Q 09:アップロードしたい画面がグレーアウトしていて選べない... ▼

各画面のアイコンをクリックすると、どのスタイルをアップロードするか選択するウィンドウが開きます。

アップロードしたいスタイルを選択して[追加>>]ボタンを押してください。

スタンダードプラン、ビューワプランの場合は、スタイルを複数選択することができます。

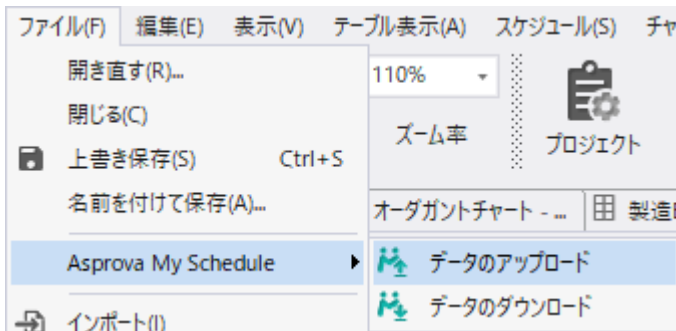
フリープランの場合は、スタイルはひとつしか選択することができません。



スタイル選択

設定ができれば[OK]ボタンを押してAsprova My Schedule連携設定ウィンドウを閉じます。

手順5.2_02:Asprovaから計画データをアップロードしよう



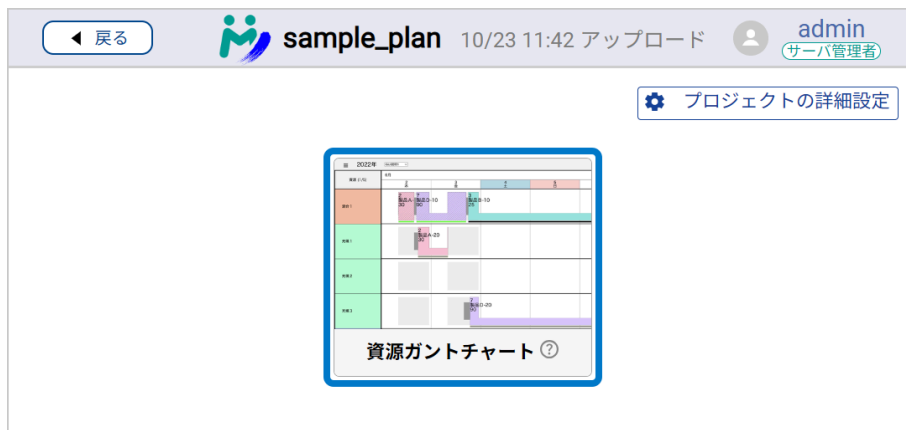
リスケジュールして、作業が割り付いた状態で、メニューバーの[ファイル]から[Asprova My Schedule ▶]>[データのアップロード]を選択してアップロードしましょう。

注)アップロードするには、プロジェクト管理者またはサーバー管理者の権限が必要です。閲覧・実績入力可や、閲覧のみの権限のアカウントではアップロードできません。

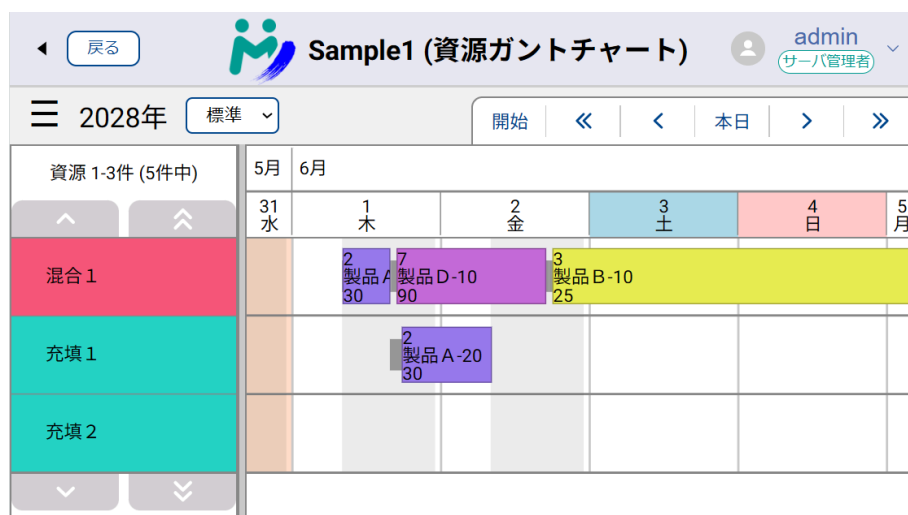
手順5.2_03:アップロードした計画データをWEBブラウザで見よう

WEBブラウザに戻って、計画データを見てみましょう。

追加したプロジェクトの画面アイコンをクリックしてみましょう。



[Q 10:同時接続数エラーが表示され計画を閲覧できない...▼](#)



My Scheduleで資源ガントチャートを表示した様子

アップロードした計画データと同じスタイルのガントチャートを確認することができました。

[Q 11:選択したスタイルが表示されない!...](#) ▼

5.3 実績をダウンロードしよう

スタンダードプラン、フリープランでは、My Scheduleから実績の入力が可能です。

仮に実績を入力して、Asprovaでダウンロードしてみましょう。

WEBブラウザで表示している資源ガントチャートの作業をどれかひとつ選択してください。

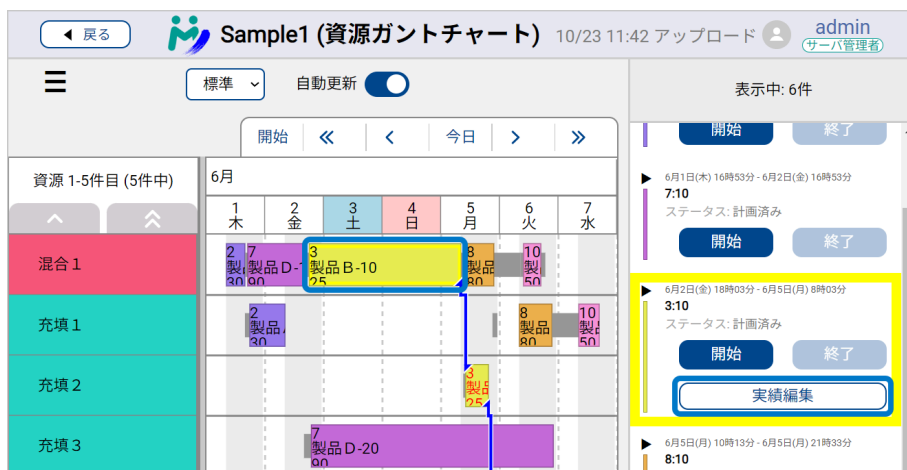
ウィンドウ右側に表示されるタイムライン表示で選択した作業がハイライトされ、実績入力ボタンが表示されます。

本手順書では、[実績編集]ボタンを押して、実績を入力する例で説明を進めます。

手順5.3_01:実績を入力してみよう

資源ガントチャート上の作業を選択して、タイムライン表示の[実績編集]ボタンを押します。

実績編集ウィンドウで、ステータスの項目から[完了]を選択して、[OK]ボタンを押してください。



実績編集 / 3:10

製造開始日時: 2028/06/02 18:03:00
製造終了日時: 2028/06/05 08:03:00

ステータス

- 計画済み
- 指示済み
- 確定
- 着手済み
- 完了

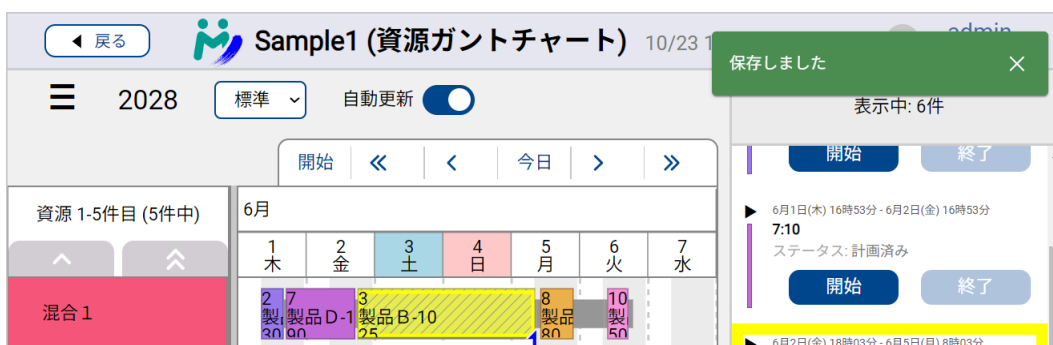
実績数量 0 / 25

実績開始日時
1970/01/01 09:00:00 元に戻す

実績終了日時
1970/01/01 09:00:00 元に戻す

キャンセル OK

実績を入力した作業バーに斜線が入っていれば、実績入力ができる状態です。

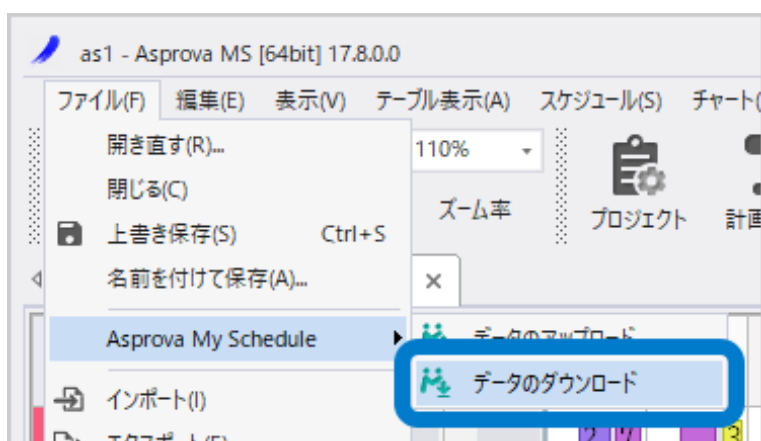


実績が入力されたバーに斜線が表示された様子

My Scheduleで入力した実績をAsprovaでダウンロードしてみましょう。

Asprovaのメニューバーにある[ファイル]から[Asprova My Schedule]を選択して、[データのダウンロード]を実行してください。

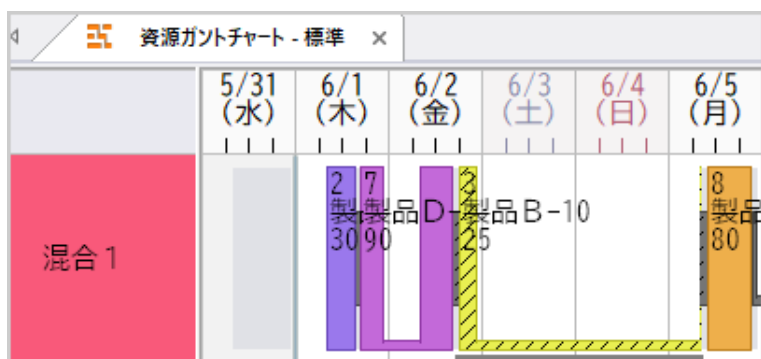
手順5.3_02:実績をダウンロードしよう



注)ダウンロードは、フリープランとスタンダードプランの場合に使用可能です。ビューワプランでは使用することができません。

[Q 06:Asprova My Scheduleの操作項目が表示されない... ▼](#)

実績をダウンロードすると、Asprovaの資源ガントチャートでも対象の作業バーに斜線が表示され、実績が入力されたことがわかります。



Asprovaに実績が反映された様子

6.My scheduleで計画データを共有しよう

用意したプロジェクトを他のユーザと共有しましょう。

計画データを他のユーザと共有するには、ユーザを追加してプロジェクトに招待します。

以下の手順に沿って、ユーザの追加と招待を試みましょう。

手順6_01:ユーザを追加しよう

WEBブラウザからMy Scheduleにadminアカウントでログインして、ユーザを追加します。

[ユーザ管理]ボタンを押すと、ユーザ管理画面に切り替わります。

リストに「admin(サーバ管理者)」として表示されているのは自分のアカウントです。

[+新しいユーザを作成する]ボタンを押して、ユーザを追加してみましょう。

ここでは例として、[test_user_001]を作成します。パスワードも適宜設定してください。



手順6_02:ユーザを招待しよう

追加したユーザを作成したプロジェクトに招待しましょう。

ユーザを招待したいプロジェクトをリストから選択します。

[プロジェクトの詳細設定]ボタンを押して表示される、「プロジェクトのユーザ設定」でユーザ

の招待ができます。

ユーザ設定

ソート順 名前(昇順) ▾

admin プロジェクト管理者
id: 5b5fb5b9-9335-4c7a-b266-e314b75d05e4

権限を変更する 削除

ユーザを招待する

ユーザの招待方法は2種類あります。

- ・既存のユーザを招待する

ユーザ管理画面で追加したユーザを検索して、権限の設定と招待ができます。

- ・新規のユーザを招待する

まだユーザ登録していないユーザを直接招待できます。

プロジェクトにユーザを招待する

既に作成されているユーザを招待するには、「既存のユーザを招待する」を利用します。招待したいユーザがまだ作成されていない場合は、「新規のユーザを招待する」を利用する必要があります。

既存のユーザを招待する

ユーザ名かユーザIDを使ってユーザを検索します。追加したいユーザが見つければ、「追加する」をクリックしてプロジェクトにユーザを追加できます。

検索する

新規のユーザを招待する

招待されるユーザに設定される権限を選択し、「招待を作成する」を押してください。作成されたメッセージ内のリンクを使ってユーザ登録することで、このプロジェクトに設定した権限で参加できるようになります。招待リンクは1回しか使用できません。複数のユーザを招待するには、複数のリンクを作成してください。

プロジェクトの権限: 閲覧のみ ▾ 招待を作成する

先ほどユーザ管理画面で登録したユーザ「test_user_001」を招待してみましょう。

[test]などの文字を入力して[検索する]ボタンを押すと、リストに候補が表示されます。

リストから招待するユーザを選択して権限の設定を行い、「追加する」ボタンを押すことでプロジェクトに招待できます。

新規のユーザを招待する方法も見てみましょう。

権限を選択して[招待を作成する]ボタンを押しましょう。

新規のユーザを招待する

招待されるユーザに設定される権限を選択し、「招待を作成する」を押してください。作成されたメッセージ内のリンクを使ってユーザ登録することで、このプロジェクトに設定した権限で参加できるようになります。招待リンクは1回しか使用できません。複数のユーザを招待するには、複数のリンクを作成してください。

プロジェクトの権限:

Asprova My Schedule 上のユーザ admin(id: 5b5fb5b9-9335-4c7a-b266-e314b75d05e4) さんから、プロジェクト「sample_plan」(id: e80c987c-25a7-408a-9457-cb62424668e7) に招待されました。

Asprova My Schedule では Asprova によって作成された生産計画の閲覧や、実績の入力が可能です。

招待を利用して参加するには、以下のリンクを利用してください。
<http://127.0.0.1/signup?invitation=c2ead7da-6d75-4223-a6b4-000189b0d58e>

招待メッセージが表示されますので、メッセージをコピーして、メールなどで共有したいユーザに送付して招待しましょう。

招待されたユーザは、メッセージに記載のリンクからMy Scheduleにアクセスしたときに、ユーザ登録を自分で行うことができます。

ユーザはプロジェクトごとに招待や権限設定が可能です。

複数のプロジェクトをアップロードする場合は、プロジェクトごとにユーザの招待を行なってください。

ユーザを招待するウィンドウで以下のメッセージが表示されている場合は、アップロードしたプロジェクトに他のユーザがアクセスできない状態です。

My Schedule専用のサーバマシンを用意して、「3.My Scheduleを専用のサーバに導入しよう」の章を参考に設定を行なってください。

localhost などのループバックアドレスを用いてアクセスしている場合、作成した招待リンクは他のコンピュータから使用することができないので注意してください。他のコンピュータからも使用可能な招待リンクを作成するには、自分のコンピュータのIPアドレスやホスト名を使ってアクセスしてください。

7.My Scheduleを最新版に更新しよう

Asprova My Schedule モジュールは月に1,2回更新が行われており、その更新内容は[新機能紹介ページ](#)で確認できます。

新たに追加された機能を利用したり、バグ修正を受け取るためには、My Scheduleモジュールを最新版に更新する必要があります。

Asprova My Schedule モジュールを更新しても、サーバに保存されているプロジェクト設定やユーザ設定は失われません。

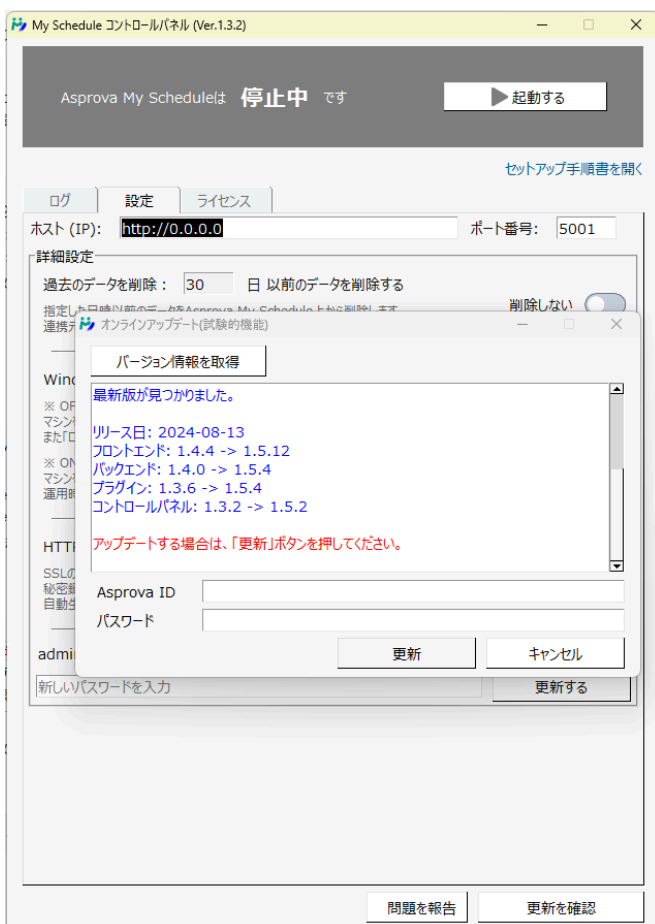
以下で更新方法を確認しましょう。

手順7_01 My Schedule モジュールを更新しよう

My Schedule モジュールを更新するには、A. コントロールパネルの更新ボタンを使う方法と、B. 手動で更新する方法があります。

Aの方法を使用するには、インターネット接続が必要です。

いずれの方法でも、更新前にMy Scheduleを停止する必要があります。



A.コントロールパネルの更新ボタンを使う

コントロールパネルの一番下にある[更新を確認]ボタンを押すと、アップデートダイアログが表示されます。

ダイアログの[バージョン情報を取得]を押すと、最新版の情報を取得できます。

新しいバージョンが見つかった場合は、AsprovaIDとパスワードを入力し、[更新]ボタンを押すことで自動的に更新が行われます。

B.手動で更新する

[公式サイトダウンロードページ](#)からMy Scheduleモジュールをダウンロードし、ダウンロードされたZIPファイルを解凍します。

My Schedule をインストールしてあったフォルダの中身を、解凍したフォルダの中身ですべて上書きします。

手順7_02 プラグインを更新する

手順7_01 でMy Scheduleモジュールを更新したら、次はAsprovaが読み込んでいるMy Scheduleのプラグイン (AsMySchedule.dll) を更新しましょう。

Asprovaが動作している場合は、一旦終了する必要があります。

Asprovaがインストールされているフォルダに移動し、既存のAsMySchedule.dll を更新されたフォルダの「Plugin」フォルダ内の新しいAsMySchedule.dll で上書きしましょう。

プラグインのbit数はAsprovaのbit数と揃える必要がありますので、注意してください。

上書きをしたら、Asprovaを起動し、メニューバーの[ヘルプ] > [プラグイン情報]からAsMySchedule.dll のバージョンが新しくなっていることを確認してください。

また、プラグインを更新した際に、My Schedule連携設定の再設定が必要になることがあります。

メニューバーの[ツール] > [My Schedule連携設定]から連携設定を開いて、設定内容を確認しましょう。

手順7_03 データを再アップロードする

更新によってAsprovaからデータの再アップロードが必要になることがあります。

データの再アップロードが必要な場合、My Schedule上で以下のように表示されます。

データの再アップロードが必要です

このMy Schedule フロントエンドのバージョン (1.5.11) には、バージョン (>=1.5.0) のプラグインでアップロードされたデータが必要です。Asprovaに必要なバージョンのプラグインを追加し、My Scheduleにデータの再アップロードを行ってください。

[TOPに戻る](#)

上記のメッセージが出た場合は、新しいバージョンのプラグインを用いて、再アップロードを行ってください。

[Q 12:更新してもWEBブラウザに古いバージョンが表示される...▼](#)

8.Q & A

Q_01:推奨動作環境が知りたい

A_01:

ハードウェア	動作環境
データ共有専用のPC データサーバ	有効なサポートがあるWindowsの64bit版 <ul style="list-style-type: none">Windows 10 22R2Windows 11Windows Server 2016以降 要求スペック <ul style="list-style-type: none">CPU: 2コア以上 (ARMでは動作しません)メモリ: 4GB以上HDD: 300MB以上
スケジュールを閲覧する 端末(PC/タブレット等)	最新版のChromeを推奨しますが、他のWEBブラウザでも ほぼ問題なく表示できます。

Q_02:WEBブラウザにMy Scheduleのログイン画面が表示されない

A_02:

設定したポート番号が他のアプリケーションで使用中の場合は接続できません。

ポート番号を5001などの80以外の数値にして、My scheduleを一旦停止して起動し直してから、WEBブラウザに入力するポート番号も変更して再度アクセスしてください。

それでも接続できない場合は以下をご確認ください。

1. My Scheduleコントロールパネルが立ち上がっていて、My Scheduleを起動しているか、ご確認ください。
2. My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブにある、ホスト(IP):ポート番号と同じアドレスで接続しているか、ご確認ください。
3. 接続できない原因を探るために、コマンドプロンプトを立ち上げ、「ping」と接続先のIPアドレスやURLを入力してEnterキーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user_name>ping 127.0.0.1
```

"ping"を入力 接続先のIPアドレスやURL

(応答がある場合)

サーバーまで、ネットワークの接続はできています。入力したユーザ名やパスワードに間違いはないか、もう一度ご確認ください。また、pingは通るものの、設定したポート番号だけファイアウォールに弾かれているケースも考えられます。ポート番号を変えて接続できるか試してください。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user_name>ping 127.0.0.1

127.0.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ :
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128
127.0.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

127.0.0.1 の ping 統計:
   パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
   最小 = 0ms、最大 = 0ms、平均 = 0ms
```

応答がある

(応答がない場合)

サーバーにアクセスできませんので、ネットワークやファイアウォールの設定をご確認ください。また、Asprovaのメニューバーの[ヘルプ]>[プラグイン情報]でプラグイン情報ウィンドウを開き、モジュール名のリストに「AsMySchedule.dll」がない場合、プラグインファイル(AsMySchedule.dll)がAsprova本体と同じディレクトリにあることを確認してください。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.3880]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\user_name>ping 127.0.0.1

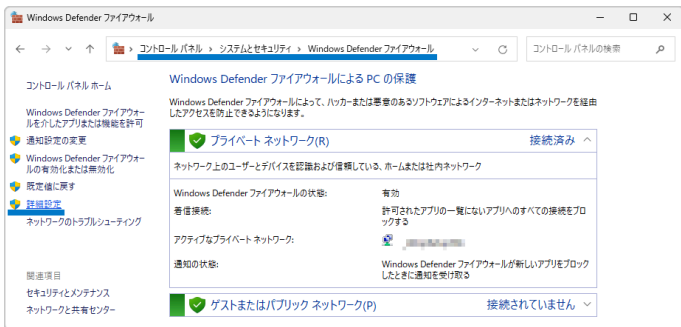
127.0.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ :
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。

127.0.0.1 の ping 統計:
   パケット数: 送信 = 4、受信 = 0、損失 = 4 (100% の損失)、
```

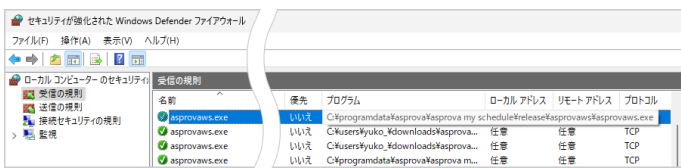
応答がない

4. ポート番号が他のアプリケーションと競合していないことを確認して、ファイアウォールの設定でポートを解放してください。

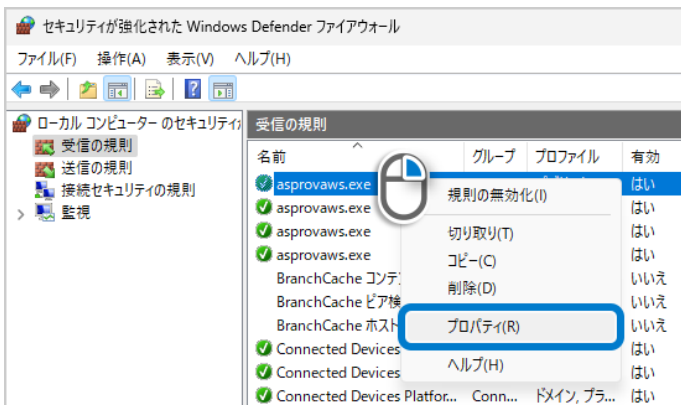
以下にWindows PCの場合の設定手順をご説明します。



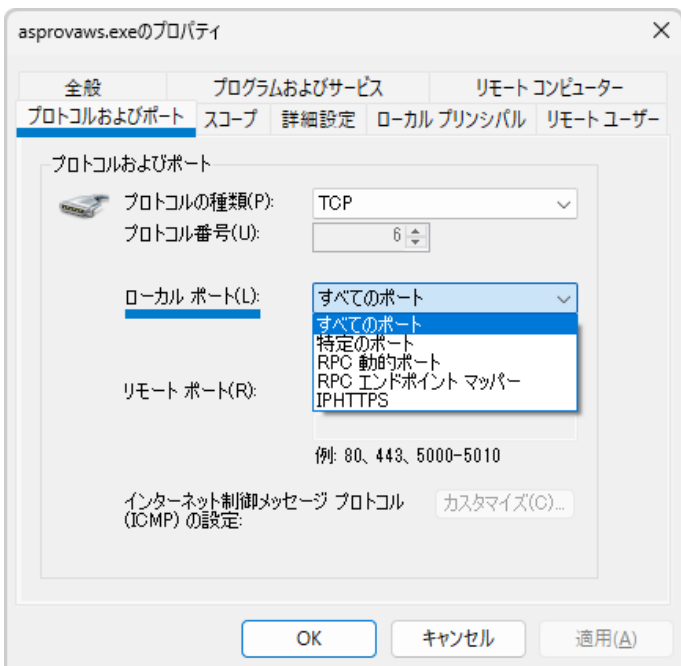
[コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windows Defender ファイアウォール]のウィンドウを開き、[詳細設定]を選択してください。



ファイアウォールの詳細設定画面が開きますので、「プログラム」の項目から「AsprovaWS.exe」を探します。



「AsprovaWS.exe」の行の上で右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。



プロパティ設定のウィンドウの中から[プロトコルおよびポート]タブを選択して、[ローカルポート]の項目で、[すべてのポート]を選択するか、[特定のポート]を選択して、ポート番号を入力してください。

この様に設定を行い、Asprova My Scheduleのポートを解放してください。

Q_03:WEBブラウザからMy Scheduleにログインできない

A_03:

1. ユーザ名とパスワードを間違えていないか、ご確認ください。
2. 初期パスワードからパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。
3. adminアカウントのパスワードがわからない場合は、My Scheduleコントロールパネルの[設定]タブにある「adminアカウントのパスワード」項目で、新しいパスワードを入力して[更新する]ボタンを押してください。

Q_04:e-プロテクタを他のマシンに移動したい

A_04:

PCの交換など、使用するPCを変更する場合は、

- ① 新しく使用するPCの正式認証
- ② 現在使用中のPCの認証キャンセル
- ③ 新しく使用するPCの使用期間延長

の順に操作/手続きを行います。

① 新しく使用するPCの正式認証

「[手順3.2.02](#)」を参照して、e-プロテクタドライバのインストールを行います。

「[手順3.3.01](#)」を参照して、フィンガープリントファイルの書き出しを行い、販売代理店を通じてアスプローバ社へ送付してください。

「[手順3.3.02](#)」を参照して、認証ファイルを読み込んでください。

認証ファイルを読み込んだ際に「ascleatelogXXX.c2v」(XXXはシリアルナンバーの文字列)という名称のファイルがダウンロードされますので、このファイルを販売代理店を通じてアスプローバ社に送付してください。

② 現在使用中のPCの認証キャンセル

1. WEBブラウザでMy Scheduleにadminアカウントでアクセスすると表示される「サーバ設定」画面で、[ライセンス情報の管理]ボタンを押してください。

2. 「ライセンス認証の管理」ウィンドウが表示されますので、[e-プロテクタ作成ログファイルを取得する]ボタンを押します。
3. 「ascreatelogXXX.c2v」という名称のファイルがダウンロードされますので、このファイルを販売代理店を通じてアスプローバ社に送付してください。

受け取った情報を元に、アスプローバ社でキャンセルファイルの作成を行います。
キャンセルファイルの送付までには数日間必要です。

ライセンス認証の管理

現在のライセンス認証方法: e-プロテクタ [変更する](#)

e-プロテクタを更新する (利用期限の更新、プロジェクト数の追加など)
販売代理店やAsprova社から受け取ったマジックナンバーを使ってe-プロテクタの情報を更新します。
[マジックナンバーを入力する](#)

e-プロテクタを他のマシンに移動する / キャンセルする
このサーバにインストールされているe-プロテクタをキャンセルします。他のサーバにe-プロテクタを移動する場合はキャンセルが必要です。キャンセルの操作には販売代理店を通じてAsprova社といくつかのファイルのやり取りが必要になります。
[e-プロテクタ作成ログを取得する](#)
[キャンセルファイルを適用する](#)

[OK](#)

4. キャンセルファイルを受け取ったら、「ライセンス認証の管理」ウィンドウにある[キャンセルファイルを適用する]ボタンを押して、「ascancelXXX.c2v」という名称のキャンセルファイルを読み込んでください。
5. キャンセルファイルを読み込んだ際に「ascancellogXXX.c2v」という名称のファイルがダウンロードされますので、このファイルを販売代理店を通じてアスプローバ社に送付してください。

ライセンス認証の管理

現在のライセンス認証方法: e-プロテクタ [変更する](#)

e-プロテクタを更新する (利用期限の更新、プロジェクト数の追加など)

販売代理店やAsprova社から受け取ったマジックナンバーを使ってe-プロテクタの情報を更新します。

[マジックナンバーを入力する](#)

e-プロテクタを他のマシンに移動する / キャンセルする

このサーバにインストールされているe-プロテクタをキャンセルします。他のサーバにe-プロテクタを移動する場合はキャンセルが必要です。キャンセルの操作には販売代理店を通じてAsprova社といくつかのファイルのやり取りが必要になります。

① [e-プロテクタ作成ログを取得する](#)

② [キャンセルファイルを適用する](#)

OK

③ 新しく使用するPCの使用期間延長

新しく使用するPCの使用期間を延長するためのマジックナンバーが発行されますので、「[手順3.3.03](#)」を参照して、マジックナンバーを入力してください。

下図中の手順番号は、本手順書の番号と対応していますので、操作方法をご確認ください。

正式認証と認証キャンセルの操作を行う際に出力される各種ファイルを、販売代理店を通じてアsprova社間でやり取りする必要があります。

手続きに数日かかりますので、計画的に行なってください。

① 新しく使用する PC の認証



手順 3.2 02:

e- プロテクタドライバインストール

手順 3.3 01:

フィンガープリントファイル生成 asfingerprint.c2v ファイル送付

認証ファイル受取り aslicenseXXX.v2c

手順 3.3 02:

認証ファイル読み込み ascreatelogXXX.c2v ファイル送付



販売代理店 / アsprova 社

① 認証ファイルの送付に数日間必要です。

② 現在使用中の PC の認証キャンセル



e- プロテクタ作成ログ生成 ascreatelogXXX.c2v ファイル送付

認証キャンセルファイル受取り ascancelXXX.v2c

認証キャンセルファイル読み込み ascancellogXXX.c2v ファイル送付

△ 現行サーバマシンのキャンセル待ち状態となり、短期間で使用できなくなります。速やかに現行サーバマシンのキャンセル手続きを行ない、使用期間延長用のマジック No の発行を受けてください。

① 認証キャンセルファイルの送付に数日間必要です。

△ この時点で現行サーバマシンの Asprova My Schedule は使用出来なくなります。速やかに log ファイルを送付して、新しいサーバマシンの使用期間延長用のマジック No の発行を受けてください。

③ 新しく使用する PC の使用期間延長



マジック No 受取り XXXXXXXX (文字列)

手順 3.3 03:

マジック No 適用

① マジック No 送付に数日間必要です。

Q_05:仮想マシン技術でe-プロテクタを利用したい

A_05:

仮想マシン技術をご利用の際は仮想マシンごとに認証が必要です。

下表の仮想マシンソフトウェアとクラウドサービスに対応しています。

ただし、ハードウェア情報が変更されるような機能を使用された場合、別のマシンに変更されたと判断され、e-プロテクタを認識できなくなる可能性があります。

	VMWare		Microsoft		Xen Project 4.12	Amazon Web Service EC2	Google Cloud Platform Virtual Machines
	ESXi 4.x, 5.x, 6.x, 7.x	Workstation 15, 16	Hyper-V Server 2008, 2012, 2016, 2019,	Azure Virtual Machines			

			2022				
e-プロテクタの利用	○	○	○	○	○	○	○
以下の機能を用いて、仮想マシンを変更した場合、e-プロテクタが認識できなくなります。(×: 使用できない組合せ)							
ライブマイグレーション	×	×	×		×		
ホットスタンバイ	×	×	×	×	×	×	×
仮想マシンの複製 (クローン)	×	×	×	×	×	×	×
スナップショットからの 復元	×	×	×	×	×	×	×
インスタンスとボリューム の組合せの変更				×		×	×

- **ライブマイグレーション**:ある仮想マシンで稼働しているOSやソフトウェアを停止させずに、丸ごと別の物理コンピュータに移動させることを指します。また、仮想マシンモニタなどが持つそのような機能です。
- **ホットスタンバイ**:機器やシステムを冗長化して信頼性を向上させる手法の一つで、複数のシステムを常時稼働状態に置き、一つに異常が生じると即座に他のシステムに処理を引き継ぐ方式を指します。類似する方式として、停止状態から起動して処理を引き継ぐコールドスタンバイなどの方式もあります。
- **仮想マシンの複製(クローン)**:特定の時点の仮想マシンの複製を作成する機能を指します。Amazon Web Service EC2 で、e-プロテクタ認証後に Amazon Machine Image (AMI)を作成して、別のインスタンスで仮想マシンを作成した場合は e-プロテクタは認識されませんので、再度認証の手続きを行なっていただく必要があります。Azure も同様です。
- **スナップショットからの復元**:特定の時点における仮想マシンの状態、ディスクデータ、および構成に関する、ファイルベースのスナップショットを指します。
- **仮想マシンのインスタンス、ボリュームの組合せの変更**:Amazon Web Service EC2 や Azure などにおいて、仮想マシンのインスタンスとボリュームの組合せを変更することです。仮想マシンのインスタンスタイプの変更は可能です。

e-プロテクタに関連するアプリケーションがDEPやアンチウイルスソフトに誤って動作を制御され、e-プロテクタが認識できないことがあります。このような場合、DEPやアンチウイルスソフトにて、以下のファイルを制御対象から除外して動作をご確認ください。

C:\Windows\System32\hasplms.exe

e-プロテクタを認識するために、以下のサービスが必要です。Sentinel LDK License Manager Windows のサービス一覧にこのサービスが見つからない場合は、Asprova My Schedule を再インストールしてください。

Q_06:Asprova My Scheduleの操作項目が表示されない

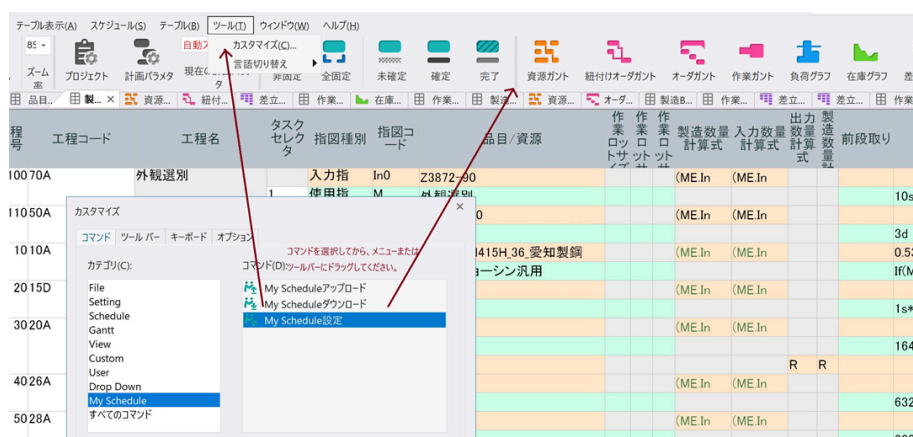
A_06:

カスタムメニューを使用している(メニューバーの[表示]メニュー内の最下部にある[カスタムメニュー]にチェックが入っている)場合はMy Schedule関連のメニューは非表示になります。

その場合はカスタムメニューを無効にするか、以下の手順でMy Schedule関連のメニューを、お使いのカスタムメニューに追加してください。

(ツールバーへの追加手順)

メニューバーの[ツール]>[ツールバーとショートカットキー]で「カスタマイズ」ダイアログを起動し、My Schedule関連のメニューを希望する場所にドラッグアンドドロップします。



Q_07:Asprova My Schedule連携設定で接続できない

A_07:

My Scheduleコントロールパネルの設定タブで入力したホスト(IP)とポート番号を、My Schedule連携設定も同じ内容で設定しているかご確認ください。

Q_08:スタンダード(ビューワ)プランを購入したにもかかわらず、フリープランが表示されているのはなぜですか？

A_08:

スタンダードプランやビューワプランをご利用いただく場合でも、フリープランの併用ができません。

WEBブラウザで行うMy Scheduleのプロジェクト設定で、プロジェクトごとにフリープランかスタンダードプラン(ビューワプラン)を選択することで、利用可能です。

ライセンス認証の設定を行っていない場合は「[3.3 My Scheduleのライセンスを設定しよう](#)」の内容に沿って設定を行なってください。

ライセンス認証の設定を行っても、スタンダードプランやビューワプランを選択できない場合は、以下をご確認ください。

1. *Asprova*の上の「ヘルプ」メニューで、「ユーザ登録」をクリックします。ポップアップウィンドウの右側にあるオプション機能リストから、*Asprova My Schedule*連携オプション(フリープラン)、*Asprova My Schedule*連携オプション(スタンダードプラン)にチェックが入っているかをご確認ください。
2. オプションのチェックボックスが存在するが、チェックが入っていない。⇒ チェックを入れてください。
3. オプションのチェックボックスが存在し、チェックが入っている。⇒ 2を確認してください。
4. オプションのチェックボックスが表示されない ⇒ *My Schedule*連携オプションを購入したシリアルと、別のシリアルでログインしている可能性が高いです。
5. *Asprova My Schedule*にadminでログインし、該当のプロジェクトがスタンダード(ビューワ)プランで作成されているかを確認し、必要なら変更してください。

Q_09:アップロードしたい画面アイコンがグレーアウトしていて選べない

A_09:

Asprova My Scheduleにadminアカウントでログインし、該当のプロジェクトで使用する画面アイコンにチェックが入っているかどうかを確認してください。

※アップロードするには、プロジェクト管理者またはサーバー管理者の権限が必要です。閲覧・実績入力可や、閲覧のみの権限のアカウントではアップロードできません。権限を変更する場合は、Asprova My Scheduleに上記の権限でログインしたうえで設定してください。

WEBブラウザで入力した実績等をAsprovaに取り込みたい場合は、Asprovaのメニューバーの[ファイル]>[Asprova My Schedule ▶]>[データのダウンロード]を実行してください。

※ダウンロードは、フリープランとスタンダードプランの場合に使用可能です。ビューワプランでは使用することができません。

Q_10:同時接続数エラーが表示され計画を閲覧できない

A_10:

フリープランは同時接続数が1つのため、ある端末でMy Scheduleで計画を閲覧している間は別の端末では閲覧できません。

同じ端末の別のWEBブラウザで計画を閲覧する場合も、それぞれに同時接続数をカウントしますのでご注意ください。

また、計画の閲覧を終了しても、15分間は同時接続数を占有します。

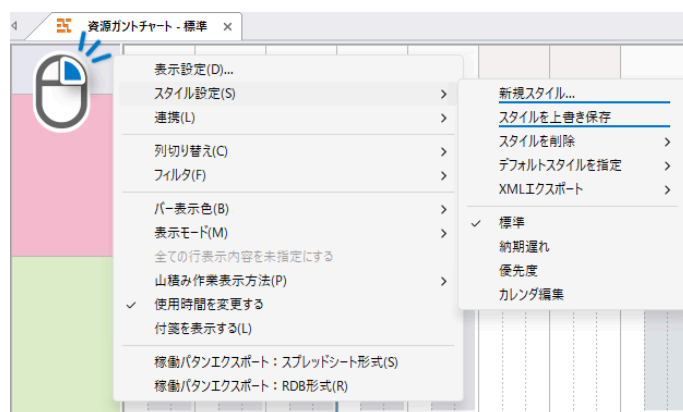
同時接続数のカウントは、My ScheduleコントロールパネルでMy Scheduleを終了した時点でリセットされます。

Q_11:選択したスタイルが表示されない

A_11:

Asprovaのガントチャートやテーブルで表示を整えた後、スタイルを保存しているかご確認ください。

スタイルを保存するには、チャートやテーブルの左上で右クリックして表示されるメニューから[スタイル設定] > [新規スタイル...]あるいは[スタイルを上書き保存]を選択してください。



Q_12:更新してもWEBブラウザに古いバージョンが表示される

A_12:

WEBブラウザ上でMy Scheduleを表示した状態で、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら[F5]キーを押してください。

上記方法でも古いバージョンが表示される場合は、WEBブラウザの設定でキャッシュをリセットしてください。

最終更新日:2026/1/31